



糠内学園通信

No. 3
2025.9.19

*糠内学園：糠内中学校・糠内小学校・明倫小学校

つながる
力部会

諸鈍小中学校との交流 オンライン 7月15日（火）糠内中

糠内学園つながる力部会の事業として、鹿児島県瀬戸内町立諸鈍小中学校とのオンライン交流を年2回実施しています。1回目の交流は、糠内中学校と諸鈍小中学校との交流でした。諸鈍小中学校からは、地域のおいしいものや観光地など、糠内中学校からは、又カナイという地名の意味や普段見ることのできる動物などをお互いクイズ形式で出しました。糠内中の森本生徒会長は、「発表を聞いて、いろいろなことを知ることができた。」と感想を述べていました。オンラインを活用することで、普段会うことのできない他地域の児童・生徒ともつながることができます。この機会を生かして表現力・コミュニケーション能力の育成を図っていきます。2回目の交流（1月）は、糠内小・明倫小の2校も参加します。



生徒の感想

- ・諸鈍のこともわかったし、こっちのことも伝えられて良かった
- ・奄美大島の地域の方言、そこでしか見れない鳥の紹介、郷土料理、観光地を教えてもらって、ここ糠内とはぜんぜん違うし、初めて聞いたものなどがたくさんあったので面白く興味深いなと思いました。もし行く機会があったら、すごく行ってみたいなと思いました。
- ・クイズの中で方言が全然わからなかったけれど、奄美大島と北海道で方言はやはり全く違うんだなと思いました。他の地域と比べることで自分の住んでる地域の良さを見つけられました。
- ・まったく違う気候にある2つの学校が交流して奄美大島についてもっと知ることができました。冬にまた交流があるのでもっと知りたいです。

つながる
力部会

全校総合『地域を創る』 プレゼンテーション発表会

7月18日（金）糠内中

全校で取り組む総合学習『地域を創る』の目的の一つは、異学年でチームを構成してより多様な意見を交えて合意形成を得る経験を積むこと。その経験を積むことで課題を解決する力と創造する力を身につけ、チームで新しいものを創り出す楽しさと生まれ育った糠内への郷土愛を育むことがねらいとなっています。



◆今年度観点【新規事業（土地活用）観点・移住者観点】

- ・糠内地区の課題を洗い出し、未来の糠内を想像し、よりよい方向へ導く提案を行う。
- ・糠内地区の人材や資源に目を向け、「好循環」を生み出す。

Aチーム提案

提案：移住者観点

〈送迎タクシーの利用〉

○大人 ○高齢者 ○子供

・病院 ・お店 ・習い事

・飲み会 ・病院

〈交流会〉

先輩移住者や地域の人との交流

提案：土地活用観点

・自然が豊かというところを活

かした施設（グランピング）

・イベント（季節のイベント）

Bチーム提案

提案：移住者観点

・移住体験イベント

・糠内の生活を体験

・うまいもん作り～地域の
食材を使って～

提案：土地活用観点

・広い土地を利用して、キャ
ンプ場をつくる。

・ホームページの作成

Cチーム提案

提案：移住者観点

1 SNSを活用した宣伝

「まずは知ってもらう」

2 幕別町ならではの料理を販売
空港を利用

提案：土地活用観点

空き家を利用した民泊

・予約制

・SNSを使って呼び込む

・糠内地区を紹介するもの

参観児童の感想

- ・図やグラフで表していてわかりやすかった。動画やHPを使っていて具体的になっていてよかった。質問にも対応できていた。
- ・提案の中でも利点や欠点を出しているのがわかりやすかった。たくさんの人が見るSNSを活用し、糠内のことを知ってもらおうという考えがいいと思った。
- ・バスだけではなくタクシーを使うという発想がいいなと思いました。
- ・移住体験イベントは、糠内に来てもらうためにとても良いイベントだと思いました。

◆ 糠内小 7月3日（木） ◆

国語 授業者：國木教諭

5年生 ことなる見方「言葉と事実」

6年生 アイスは暑いほどおいしい？
「雪は新しいエネルギー」

参加者：宗形校長・佐々木教諭・菊地教諭
佐々木養護教諭（糠内中）
中村教諭・島田事務職員（明倫小）



～感想～

- ・耳で聞くだけでなく、他の子のまとめたものを目でも見ながら交流することで、理解を深めたように見えました。
- ・小学校段階でChromebookを使って何ができるようになっていくか情報を共有していく必要性を感じました。
- ・子どもたち同士の交流になっていくとさらに良いと感じました。学習リーダーの取り組みについても参考になりました。
- ・文字を書く習慣がないと中学校で苦労するかも。

◆ 糠内小 7月16日（水） ◆

国語 授業者：宮村教諭

1年生 「すずめのぐらし」

2年生 じゅんじょに氣をつけて、つながりを
かんがえよう「すみれとあり」

参加者：倉田教頭・松本教諭（糠内中）
國島教諭（明倫小）



～感想～

- ・ロイロノートを使った授業を見せていただいて、大変参考になりました。ふりかえり、手書きでもできるので、ぜひ使ってみたいと思いました。
- ・2年生の話し合う力が高いことに驚きました。1人しかいない中で仮説を実証していくことは難しいと感じました。
- ・「すずめのぐらし」は一人での学びなので、どうやって協働的な学びの要素を体験させてあげるかは、小規模校の永遠のテーマかと感じました。

◆ 明倫小 7月23日（水） ◆

社会 授業者：久富教諭

3年生 「はたらく人とわたしたちのぐらし」
農家の仕事

4年生 「住みよいくぐらしをつくる」
ごみのしよりと利用

参加者：宗形校長・菅谷教諭（糠内中）
藤井校長・出口教諭（糠内小）



～感想～

- ・やさしい雰囲気ぐて学びやすい環境であったと思いました。
- ・準備していたことがしっかりねられていて、工夫もありました。伝えあう、高めあう場を意図的に増やしていくことも必要だと思ひます。
- ・ロイロノートは使い慣れているように思ひました。その安心感からか、安定した発表で終わられて良かったと思ひます。自分の考えはしっかり伝えられていたように思ひます。

学園全体研修を実施しました

- ▶ 研修目的：生成AIを校務に効果的に活用するための知識とスキルを習得し、教育現場での効率化と質の向上を図る。
- ▶ 日 時：8月21日（木）13：30～15：00
- ▶ 場 所：糠内小（スマプレ）
- ▶ 研修内容：「生成AIの校務活用について」
 - ①基礎知識
 - ②校務活用事例
 - ③導入時の留意点
 - ④生成AIツールの実践練習
- ▶ 講 師：伊倉大亮教諭（音更町立音更小学校）
教育現場でのAI活用に精通。新しい形の学びの授業力向上事業（ICTを活用した授業）加配教諭



感想(事後アンケートより)

- ・今回の研修で、生成AIでどんなことができるのかを知ることができたので、自分でも少しずつ試してみたい活用できるようになりたいと思いました。先生のお話も簡潔でわかりやすく、ユーモアもあり、ICTアレルギーの私ですが楽しく参加することができました。講師の先生、企画していただいた先生方、本当にありがとうございました。
- ・今回の研修内容は、とても興味のある分野だったので大変勉強になりました。またchromeに入っているものをつかえるので、すぐに実践に生かせるものだったので特によかったです。
- ・目指す子ども像が共有されたので、学園としての研修テーマを持って進めることができると統一感を持てるのではないのでしょうか。
- ・今回の研修、とても分かりやすかったです！AIに手を出せずにいましたが、案外できそうだとすることがわかりました。日常で活用してみたいと思いました。